

2008年度研究交流集会の開催（お知らせ）

本学会では、2003年度より、学会の大会ではなかなかとれない質疑・討論の時間を十分に確保（1報告が25分、質疑60分）して、会員の皆様による研究交流の場を設けてまいりました。この集会は大会に比べれば小規模ですが、企画担当理事が推薦した中堅・若手会員のなかから数名の方を招待し、じっくりと研究を深めることができるような熱い議論をかわして、参加された会員を知的に刺激しつつ会員間の親睦を深めていただくという趣旨で企画しています。各報告には、それぞれのテーマに造詣の深いコメンテータをお願ひしています。集会の後には希望者による懇親会を計画しています。

本年度は、筑波大学大学研究センターとの共催により、12月20日（土）に開催いたします。参加をご希望の皆様は、電子メールなどにて、「お名前、ご所属、連絡先のメールアドレスか電話番号かファクス番号、懇親会参加希望の有無」をそえて、企画担当理事の塚原までお申し込みください（連絡先は末尾にあります）。会場の都合により、お申し込みが多数の場合にはお断りすることもありますので、早めをお願いいたします（最終締切は12月15日）。

実施概要

日 時：2008年12月20日（土） 9時30分から18時10分

会 場：筑波大学大学研究センター、第1会議室

東京都文京区大塚3-29-1

地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車すぐ

付近の地図は <http://www.rcus.tsukuba.ac.jp/location.html>

時間表：

9:30 開 会

9:35-11:00 山田剛史（島根大学）

「学習成果（ラーニング・アウトカム）の構造と教育経験および就業との関連性」

コメンテータ：吉田 文（早稲田大学）

11:00-12:25 中島英博（名城大学）

「大学経営における定量的ベンチマーキング」

コメンテータ：水田健輔（国立大学財務・経営センター）

12:25-13:25 昼 食（各自）

13:25-14:50 末富 芳（福岡教育大学）

「変貌する大学教育費「親負担ルール」」

コメンテータ：小林雅之（東京大学）

14:50-15:00 休 憩

15:00-16:25 木村拓也（長崎大学）

「高大接続情報を踏まえた『大学教育効果』の測定——潜在クラス分析を用いた追跡調査モデルの探索的研究」

コメンテータ：塚原修一（国立教育政策研究所）

16:25-16:35 休憩

16:35-18:00 朴澤泰男（一橋大学）

「大学進学 of 地域格差の構造」

コメンテータ：天野郁夫

18:00-18:10 会長講評

18:30-20:30 懇親会（希望者のみ、会費 5 千円程度を予定）

企画担当理事：池田輝政、塚原修一、濱名 篤

問合せ、申込先：tsukahar@nier.go.jp 塚原修一

電話：03-6733-6970

ファクス：03-6733-6988